



平成15年4月22日
エヌ・ティ・ティ・アイティ株式会社

「健康危険度評価に基づく健康管理」の共同実験を本格化

- 健康状態がどの方向に進んでいるかを生活習慣から把握

5月から施行される「健康増進法 (http://www.ron.gr.jp/law/law/kenko_zo.htm)」に適用出来る「生活習慣病改善を支援する保健指導支援システム」の実現

エヌ・ティ・ティ・アイティ株式会社(以下、NTT-ITと称す。本社;神奈川県横浜市、代表取締役社長;橋田幸雄)は、聖マリアンナ医科大学(神奈川県川崎市、予防医学教室教授;吉田勝美)・財団法人予防医学事業中央会(東京都新宿区、理事長;大谷藤郎)と、生活習慣病改善を強力に支援する「健康危険度評価に基づく健康管理」の共同実験を5月より本格化します。

これにより、保健指導時における説得力が向上し、本人の自覚を促し生活習慣を改善する大きな機会を与えることが可能となります。

本共同実験は、聖マリアンナ医科大学吉田教授が考案したアルゴリズムに基づき、NTT-ITがシステム化を行い、財団法人予防医学事業中央会が運営主体となって実施するものです。

30万人以上を指導対象とする、国内で初めての大規模実験を開始

この実験は、財団法人予防医学事業中央会翼下の全国各支部の健診受診者、およびNTT-ITが販売する健康管理支援システム(HELSMEK*)での健診受診者、総計30万人以上を指導対象とするもので、このような大規模での実験は国内でも初めての試みとなります。

生活習慣と健康状態との関係を分かりやすく提示する画期的な保健指導支援ツール

「健康危険度評価(Health Risk Appraisal)」とは、現在の健康状態を生活習慣(飲酒頻度、食生活、運動習慣、疲労感など)から把握し、「現在は正常であるが、このままの生活習慣を継続すると将来の健康状態(血圧、尿酸、コレステロール、血糖など)の異常が懸念(悪化予測)される」、「現在は異常であるが、生活習慣を改善すれば、どの程度まで健康状態を改善することが出来るか」などを的確に教えてくれるものです。

本システムでは、保健師が面談を行いながら保健指導する際に活用することを想定して、グラフ等により容易に予測結果が表示でき、本人に生活習慣改善の目標を決めるための説得力のある指導が可能になります。

別紙に表示例を示します。

共同実験の本格化により、健康危険度評価の予測精度の向上、システムの機能向上などを一層進めていく予定です。

(*) HELSMEK: NTT-IT社が販売する知識処理を用いた健康管理支援システムで、詳細は
URL: http://www.ntt-it.co.jp/goods/sys/HELSMEK/pro_index_j.html
をご覧ください。

<お問い合わせ先>

NTT IT株式会社 ヘルスケアビジネス事業部 営業部
〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町2-9-1 関内ワイズビル
TEL:(045)651-7625 E-mail: info-hbj@ntt-it.co.jp

【別紙】HRAシステムの表示例

(1) 悪化予測の場合



現在の生活習慣を続けると・・・

(2) 改善予測の場合



到達目標を達成すると・・・